

令和5年度 第2回トライ！生駒子ども読書会議 基調講演

# ヒトが育ち、学ぶということ

## —ポストコロナ社会に生きる次世代人類に向けて



### 講師 明和政子氏

現在、京都大学大学院教育学研究科教授、文部科学省科学技術学術審議会委員、日本学術会議連携会員、こども家庭庁こども家庭審議会臨時委員。

ヒトとヒト以外の霊長類を胎児期から比較し、ヒト特有の脳と心の発達の機序とその生物学的基盤を明らかにする「比較認知発達科学」という分野を世界にさきがけて開拓した。

近著に『マスク社会が危ない—子どもの発達に「毎日マスク」はどう影響するか？（宝島新書）』『ヒトの発達の謎を解く—胎児期から人類の未来まで（ちくま新書）』など。

日本では、サイバー空間とフィジカル空間を融合させた未来社会「Society5.0」が目指されています。新型コロナウイルス感染症の拡大が、この流れを一気に加速させました。Society5.0では、「利便性の向上、省力化（無駄のなさ）」が重視されています。

しかし、これは完成した脳をもつ大人を前提としているにすぎません。ヒトは、他者との「密・接触」を基本とする環境に適応しながら進化してきた生物です。大人にとっては一見無駄にもみえる環境のなかで様々な経験を積み重ねながら、ヒト特有の脳と心はゆっくりと育まれていくのです。

私たちはどのようなポストコロナ社会を子どもたち、次世代に託していくべきでしょうか。ヒトの育ちを科学的に理解し、それを羅針盤としながら、皆さんとともに考えてみたいと思います。



### 申込

市内図書館・図書室へ直接/電話  
申込フォーム



後日web配信あり(申込締切：11/12)



# 11月2日(木) 14:30~16:00



会場

市民ホール  
生駒市図書館



定員

400名



費用

無料



＼託児もあります／



問合せ：生駒市図書館 (0743-75-5000)